

たかす議会だより

# 子雀草

(町花「マリーゴールド」の和名)

題字 松平さくら

2024年11月5日発行

No. **196**

令和6年9月定例会号



特集

鷹栖版ふるさと共育  
あったかスタディー

# ふるさと共育 小学生の未来提言



聞いて、理解し、自分ごととして考える

## 6年生が授業で議場を活用

7月9日（火）北野小学校6年生がグループごとに考えた「未来提言」を行政に発表しました。

9月17日（火）議場で担当職員がフィードバックを行いました。その内容をお伝えします。

### 鷹栖版ふるさと共育 あったかスタディーとは

町独自の教育プログラムです。幼少期から20歳まで各年代で地域を知り、地域と関わり・自ら考え、インプットから徐々にアウトプットを行います。

地域の未来を創造する提言や自ら取り組みを実践する高校生プロジェクトを行います。

発表を通じて主体的に考え、ふるさととの関わりを大切にできる人材育成を目指します。

### 未来提言

#### 道の駅がほしい

鷹栖町はお土産屋がなく、町外から来る人も少ないです。道の駅があればお土産屋さんが増えて、たくさん人が来てにぎやかになると思います。



たかすマルシェでは町内外から沢山の方にお越しいただきました。

目的はにぎわいをつくり出すこと

道の駅を建てるには、目安となる交通量があり、町内の道路の交通量はその目安に届いていません。2025年度鷹栖地区に商業の拠点となる複合施設の建設を計画し、特産品の販売コーナー設置を検討中です。



産業振興課  
東 未衣 主事

### Interview Takasu

みんなで真剣に取り組み、思いが伝わるように発表をしました。どの提案もお金がたくさんかかるため、実現は難しそうでした。ですが、ぼくたちの提言を参考にまちづくりについて考えてもらえたのがうれしかったです。議場は広くて、とても緊張しましたが、楽しい授業でした。

貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

北野小6年1組  
川上 大翔さん



# 孔雀草

## 〈もくじ〉

- 4 中学生の議会傍聴
- 5 決算ここがポイント  
監査意見 財務状況は
- 6 歳出 84 億円はどう使われた  
令和 5 年度決算まとめ
- 8 議員は何を質問したのか  
決算審査  
歳出の項目別に表記しています
- 14 河川道路復旧3400万円  
第3回定例会
- 16 一般質問  
青野・片山
- 19 協力隊員の雇用  
一般質問のその後を追跡
- 20 先進地を視察  
総務文教常任委員会レポート
- 22 視察の夏  
経済福祉常任委員会レポート
- 24 語ろう会を実施  
広報広聴常任委員会レポート
- 25 議会の動き  
孔雀草クイズ  
3名の方に 1000円分の商品券が当たる
- 26 わたしの一言



鷹栖町の交差点には少ししか設置されていません。ガードレールがあれば、もし事故を起こしても周りに被害が出ずに、歩行者も守られると思います。高齢者なども安心して交差点を渡れると思います。

### 未来提言 ガードレール増やして



建設水道課  
白橋 一世 技師

**重要箇所は設置済み**  
ガードレールがあれば被害を最小限にできますが、完璧に事故が無くなるものではありません。車道から離れて歩くなど交通ルールを守ること大切ですが、危険だと思えば場所があれば、教えてもらえれば設置できるかもしれません。

**未来提言  
新しいトイレ設置を**  
北野地区の公園に新しいトイレを設置してほしいです。汚れや虫もいて、薄暗く安全面でも心配です。利用している人もあまりないようです。

**未来提言  
新しい公園と遊具を**  
大きい子用の遊具と小さい子用の遊具がある新しい公園があれば、小さい子は安全に遊べて、保護者も助かると思います。公園に新しい遊具がほしいです。家でゲームをせず外で遊ぶきっかけになります。

**更新時期には  
より快適なトイレへ改修**  
快適に使用できるように清掃や点検などの管理を日々行っています。トイレを汚さないよう、ご協力をお願いします。

**新しい公園を作ることは難しいですが…**  
遊具について、要望が一番多かったターザンロープは、設置に約400万円かかります。ふるさと納税を活用して設置を検討します。



役場裏の緑地公園に設置されているターザンロープ



建設水道課  
長原 夢菜 主任



Xで活動報告を行っています



過去の議会報「孔雀草」で関連のある記事を表示しています。

# 中学生52名が議会傍聴

ふるさと共育「鷹栖町の未来」  
質疑から課題意識学ぶ



9月19日定例会2日目、鷹栖中学校3年生が議会傍聴を行いました。町の課題・将来像について興味関心を持ち、課題解決のための探求方法や発信方法を身につけるふるさと共育「鷹栖町の未来」が実施されました。

## 1 町職員による講話

まちづくりへの基本構想や具体的な施策について学びます。

## 2 議会傍聴

議員の決算への質疑から課題意識を学びます。

## 3 提言発表

10月下旬に町長・教育長に対してプレゼンを行います。

## 4 町からの説明

提言について、担当職員からフィードバックします。



3A 佐々木 貫太さん

町長さんや議員の方々など、全員が鷹栖町をもっとよくしていきたいと本気で考えていることがすごく伝わってきました。

学校にエアコンの設置、英検の補助金など子供のためにも活動してくれていて、鷹栖はあったかい良い町だと改めて思いました。



3B 村上 幸兎さん

町民のために議員の方々や役場の方々が議会を開き、討論し、鷹栖町をよりよい町にしようとしているのだなと感じました。私は、鷹栖町を住みやすい町だなと実感しています。改めて、とても感謝したいと思いました。



## 高校生プロジェクト 慶應大生講師に

「やりたいことをやってみよう」をコンセプトに、鷹栖町をフィールドにした高校生の学びの場を展開しています。

慶應義塾大学生が講師となり、高校生の好きなこと、興味があることを鷹栖町の「ひと・もの・こと」とつなげ、形にしていくなかで探求活動を支援しています。

現在は町内在住の高校生4名が活動しています。

監査意見

中期的には安定 選択と集中を

令和5年度決算ここがポイント

令和5年度決算はコロナ禍を乗り越え通常の日常を取り戻しつつあったが人口減少や物価高騰など経済情勢の不透明感が色濃く反映されるものとなった。

識見を有する者から選任された小川代表監査委員と議会から選任された阿戸委員があり、町の財務状況が適切か監査します。

監査委員とは

1 経常収支比率、実質公債費比率ともに2年連続上昇。実質収支比率の減少や将来負担比率が正常の範囲内であることなどを総合的に勘案すると、中期的には安定している。

2 私債権は、滞納整理の強化により確実に効果が表れている。町債残高は3年連続減少に転向し、財政調整基金は3年連続増加。

3 今後、社会保障関係経費、公共施設の大規模修繕などの支出が見込まれる。国庫補助金など積極的な財源確保を。

4 今後も生産年齢人口の減少が見込まれる。事務事業の見直しによる経費合理化で、成果を重視する「選択と集中」を。

経常収支比率 [弾力性]	81.0	比率が高いほど財政の硬直化が進むといわれ、75%を超えると財政は弾力性を失いつつあるとされています。
財政力指数 [財政力]	0.265	財政基盤の強弱を示すものです。1に近いほど財政力が強い。
将来負担比率 [財政圧迫度]	5.1	将来、財政を圧迫する可能性の度合いを示します。早期健全化の基準としては市町村の場合 350%とされます。



代表監査委員  
小川 一也

代表監査委員に就任して4回目の決算審査でした。1回目に比べれば、全体像も見え各事業の内容も把握できるようになり、監査も的を得たものになって来ているのではないかと思います。分かるに従い疑問点も増え、事前準備に時間を要しています。

今後も監査の精度を高めるよう努めます。



監査委員  
阿戸 伸一

昨年と比較して、監査日程と期間および実施時間について調整が図られました。

その結果、監査における通常業務への影響を緩和することに繋がり、監査過程において特段問題なく効率的に進めることができました。

※阿戸議員は監査委員のため決算審査での質疑は行っていません。

# どう使われた？ 84億円

2023年度の決算審査では、一般会計、4特別会計、2公営企業会計を合わせた7会計84億円の支出を認定しました。

一般会計では、2022年度と比較すると、歳出は839万円減少しました。歳入は6630万円減少しており、町税や国庫支出金の減額が主な要因です。

## 総務

### 持続可能な地域づくりを支援

2425万円

5地区の地域運営組織や集落支援員へ補助金を支出。

3年目となったまちLaboは、移動映画館やコワーキングスペースなどの実践活動を行いました。



## 民生

### 子育て世帯へ応援給付金

1365万円

電力・ガス・食料品等の物価高騰を踏まえ、国からの給付対象外の子育て世帯に町独自で給付金を支給しました。

### 子育て未来会議

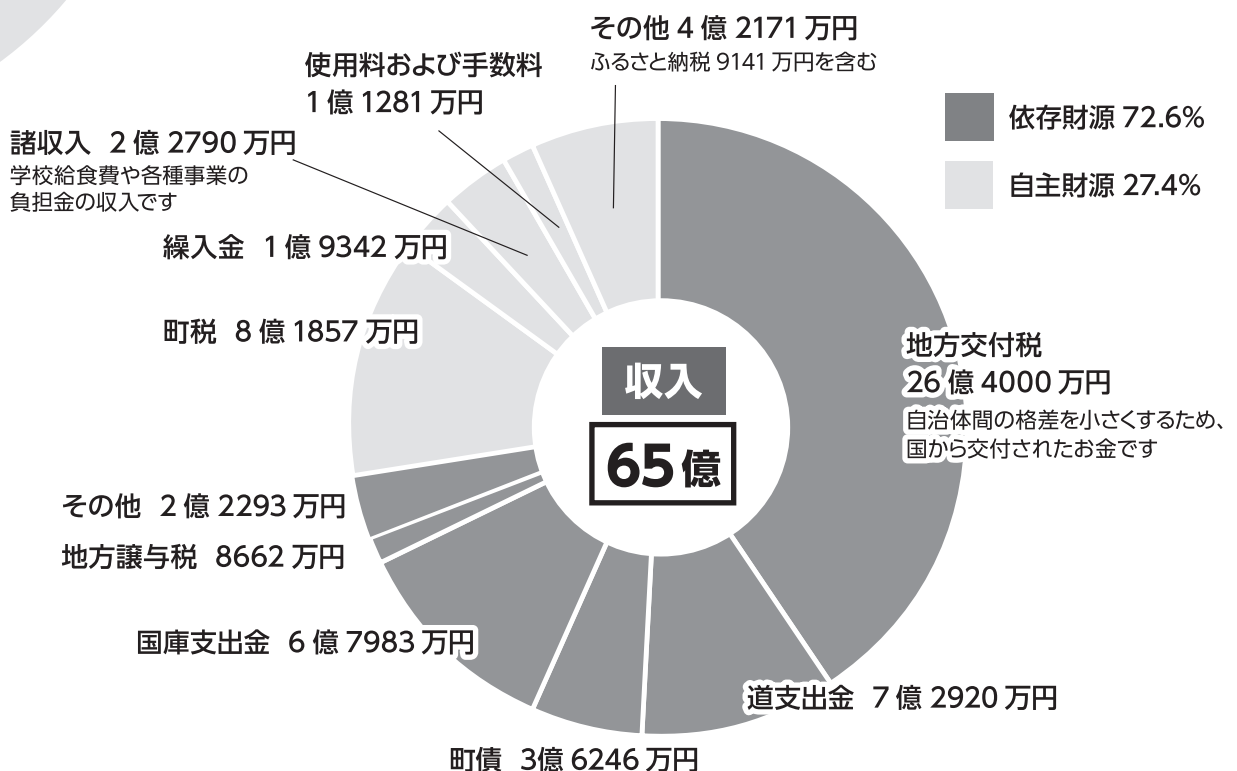
16万円

子育て支援や施設のあり方を協議。保育園統合が決まりました。

総務費  
18億5069万円

62億

民生費  
10億5273万円



令和5年度  
決算

一般会計

特別会計  
公営企業会計

62億 + 22億 =

教育

総合型地域  
スポーツクラブの運営

子どもから高齢者までスポーツに親しみ、健康の保持・増進を目標としています。会員数348名。

教室等の開催数271回、延べ参加人数2242人。



284万円

町民球場大規模改修

防球ネットやバックスクリーンの改修。安全に野球を楽しむ環境を整備しました。

8799万円

土木

北鷹栖団地の設計

北斗地区に建設する北鷹栖団地の基本・実施設計。木造平屋建て1棟4戸が2024年11月完成予定！

594万円

農林

野菜団地を整備

新規就農者が農業を継続できる環境を整えました。

※2022年度からの繰り越し1640万円



603万円

議会費 4669万円  
商工費 1億 351万円  
消防費 1億 7592万円  
衛生費 4億 6081万円

教育費 4億 2441万円

土木費 6億 5289万円

公債費 7億 3778万円

農林費 7億 7188万円

支出

会計別の決算状況

会計別の決算状況	歳入	歳出	差し引き額	歳出の前年度比較
一般会計	65億 181万円	62億 7781万円	2億 2400万円	839万円減 (-0.1%)
国民健康保険	8億 1080万円	8億 221万円	859万円	6558万円増 (8.9%)
後期高齢者医療保険	1億 1329万円	1億 1309万円	20万円	378万円増 (3.5%)
介護保険	9億 5737万円	9億 501万円	5236万円	3599万円増 (4.1%)
上川町村公平委員会	210万円	29万円	181万円	23万円減 (-45.0%)
水道事業 (収益)	1億 9161万円	1億 7365万円	1796万円	1352万円増 (8.4%)
公共下水道事業 (収益)	2億 761万円	1億 9515万円	1246万円	685万円増 (3.6%)
合計	87億 8459万円	84億 6721万円	3億 1738万円	1億 1710万円増

# 決算 審査

## 今後につながる 事業の効果検証

議会は皆さんの意見を聴き、町の現状を考え、決算の数値を見て、新年度予算への提言を行います。決算で事業の成果を検証・評価することが重要です。

### ゼロカーボンの効果は

**川原** 太陽光や窓断熱に比べ、木質バイオマス燃焼機器購入補助の執行率が低く、定住促進対策事業では新設されたゼロカーボン加算が執行されませんでした。町民に脱炭素の視点は根づきましたか。

**まちづくり推進課長** 木質バイオマス燃焼機器の購入には住宅の改築等が必要となり、設置に係るハードルが高いことが執行率が低い要因です。

**町長** 町民のCO2削減への関心は非常に高くなっています。企業版ふるさと納税を活用し、パレットヒルズの植樹を支援する旭川圏域の事業所も増えています。



9月29日植樹祭の様子。2030年までにCO2排出量を実質0にするゼロカーボンシティ宣言を2023年に行いました。

### 削減量の把握が必要では

**林川** 町のウェブページではCO2排出量を確認できる「みんなの算定」というアプリを紹介しています。2023年度の町全体と公共施設の削減量の把握は。

**まちづくり推進課長** 町全体は把握していません。役場内の排出量は2022年度は2013年と比べて1564t/CO2削減。2023年度分は現在、算出中です。

### 町営バス 一般利用促進を

**川原** 町営バスは保育園児の送迎などを行うことになったため全体の利用者数は増えていますが、一般利用者は伸び悩んでおり、課題があるのでは。

**町民課長** 新規利用者の促進が必要です。利用方法など再度、周知していきます。

### 行財政改革の課題 「働き方改革」は順調か

**青野** 前年度より時間外勤務が減っています。時間外勤務の管理や育休の取得の状況は。

**総務課長** 残業せずに定時で帰るという意識づけができてきました。男性の育児休暇についても2024年度取得する職員がいます。

**川原** 目標としている時間外勤務1万9300時間から50%の削減という目標に対して成果は。

**総務課長** 1万3805時間となり、1万9300時間から28%削減となり、昨年より成果ができています。

月45時間超えの時間外勤務を禁止していますが2023年度は延べ62名が超過。休職者は2名です。



出勤簿の押印を廃止し、勤怠管理システムを導入。DX化推進により働き方改革に効果が出ています。

## 医療費自己負担分を助成 高校生年代まで拡大

**桑原** 2023年度から高校生年代までが対象となりました。医療費が当初予算より増加している要因は。

**町民課長** 対象は731名のうち高校生年代は238名です。

医療費扶助費の2219万円のうち高校生年代で663万円となり、全体の約3割です。大学進学を控え、受診する方が増える傾向にあります。

**林川** 一般財源のほかに地方債を借入し、3000万円以上支出しています。今後どの町も財源確保が大変です。国や道への働きかけは。

**町民課長** 現在、高校生までの医療費の無償化はスタンダードになってきており、国や道へ支援の拡大を働きかけていきます。

上川中部では愛別町・上川町・東神楽町・当麻町・美瑛町が高校生年代まで医療費の自己負担がありません。

比布町はかかった医療費分を町内で利用できる商品券を配付しています。

## 健康促進に向け実態把握 尿中塩分検査の結果は

塩分の摂り過ぎは高血圧となり、動脈硬化、脳卒中、心筋梗塞などの原因になるとされています。

**林川** 新規事業として尿中塩分検査を実施しました。結果に対する考えは。

**健康福祉課長** 特定健診の項目に組み込まれ、595人が受診しました。結果、国の基準の塩分摂取量を8割の方が超えていました。特に高い数値の方には特定保健指導を行っていきます。

### Interview Takasu

2年前、町の保健師の方から減塩の大切さについて話を聞く機会がありました。

自分の数値を知ること、健康について意識するようになり、来年はさらに良い結果になるよう日々食事に気をつけています。健康寿命を一日でも長く伸ばすことができるよう、「塩分摂取量」の数値はとても励みになっています。

平田 千恵子さん（北野）



## 弱視は早期発見が大切 3歳児健診で屈折検査実施

2023年度に限り、3歳児以上の就学前児童全員に対して屈折検査を実施しています。

**片山** 視覚異常を早期に発見し治療につなげるため導入したスポットビジョンスクリーナーを150名が受診しました。精密検査が必要だった方、治療が必要だった方は何名でしたか。

**健康福祉課参事** 精密検査が必要だと判断された子どもは19名、そのうち治療が必要だとされた子どもは9名でした。早期の治療につながり、大変効果があったと思います。



スポットビジョンスクリーナーはこのような使われています

192号  
20頁

議員の質問により導入検討  
目下前議員は屈折検査の必要性について一般質問しました。

## 「オオカミの桃」原料トマト 5年で100トン減少

**川原** 2018年368トンから2023年は256トンと約100トン減少しています。作付農家の数も71名から54名と減少しています。歯止めがきかない状況をどのように分析していますか。

**産業課長** 根本的に今後の「オオカミの桃」の在り方について町・公社・両JA・普及センターで協議しています。トマトだけでは収益が成り立たないことが生産量が伸びない原因です。既存の生産者を支援するだけでは解決されない問題です。町が用意する野菜団地で企業に大規模でトマトを作付けしてもらうなどの検討も必要です。



病気に弱い今の品種から、多収で作りやすい品種を模索しています

## きゅうりやトマト 栽培技術の向上は

**川原** 養液栽培研究者招へいや試験栽培の効果は。

**産業課長** 収量を上げるため、3年前から農研機構の研究者を招へいし、あったかファームで試験栽培を行っています。

きゅうりについては土耕栽培に遜色ない収量をあげています。トマトについても養液・土耕栽培の両方で日射量などのデータ化を行い、効率よいハウス内環境につなげ収量をあげることが取り組んでおり、今後成果が表れることが期待されます。

## 施設整備への補助 不用額が多い理由は

**林川** ハウスの自動巻上機、遮光ネット、送風機の導入を目的とした施設整備事業の不用額が多い。PRが少ないのか、農業者が希望しないのか。また、導入だけでなく、更新を含めて検討する考えは。

**産業課長** 次年度以降、少しでも事業活用できるよう進めます。なお、更新については検証します。

## 浸水を防ぐ 田んぼダムの推進状況は

田んぼダムは豪雨対策として、水田の持つ貯水機能を利用し一時的に水をため、排水路や河川の水位上昇を抑え、農地や住宅の浸水被害を防ぎます。

**青野** 田んぼダム推進のため、排水をとめる遮へい板は農業者にどの程度配布されていますか。災害時、農業者の協力体制と連絡方法は十分ですか。

**産業課長** 遮へい板は基盤整備を実施した水田には基本的に配布されています。

田んぼダムは北野地区で先進的に取り組んでいます。他の4地区は2025年度以降取り組みます。災害が予測される時の周知を徹底するため、ファックス及びLINEなどによる連絡方法を用います。



北野地区で設置されている遮へい板

不用額は歳出予算額から支出済額と翌年度繰越分を引いた額です。金額が大きい場合は、発生要因や事情の確認が必要です。

## 新規開業等支援 対象業種拡充の効果は

2023年3月の定例会で条例改正し、小売業や飲食業など一部の業種に限られていた対象を拡充し、町内のほとんどの商工業者が対象となりました。併せて補助内容も充実しました。(2026年3月まで)

190号  
12頁



新規開業した民泊「あらさんち」では、最大7名の宿泊受け入れをしています

**片山** 新規開業等支援は対象業種を拡充しました。前年度に比べ利用が増えています。これは拡充の効果と考えていますか。

**産業振興課参事** 利用は6件で、このうち、以前の制度であれば対象とならなかったケースが3件あります。利用者も増えており、拡充の効果が出ていると考えます。



## 除排雪 労働の仕組み の見直しできた？

**川原** 行財政改革委員会では除排雪について「担い手確保のため、労働の仕組みが適正に確立されることが望ましい」と提言がありました。

冬季に雇用される会計年度任用職員の報酬が増額しているのは、労働の仕組みの見直しの結果ですか。

**建設水道課長** 勤務条件の見直しを行い勤務時間は減りましたが、これにより手取りが減らないよう基本給を増額しました。

時間外勤務も1800時間減っています。オペレーターの身体的負担軽減、事故の未然防止に努め人員の確保を図ります。

## 消防団員の受診料助成 なぜ利用者少ない？

利用者の推移

2021	2022	2023
10名	7名	4名

**片山** 消防団員の特定健診受診料の助成の利用者が減ってきています。

町では、受診料が安く抑えられていることが要因のひとつと考えられます。

担当課の考えは。また、団員から他のニーズなどを聞いていますか。

**総務課長** 特定健診の自己負担分が500円と安いことのほか、領収書を提出する手続きのタイミングが合わないなどの理由も考えられます。

今後、聞き取りも行い、どのような形がよいか検討します。



定例会後、各分団の詰所に領収書提出用ボックスが設置されました

## 馬具の文化財認定を機にさらなる歴史継承を

**片山** 2023年の執行方針質疑で教育長は「まちの歴史などを次世代に継承するため、実際に馬を使っていた方の話などを記録することも必要」と言っていました。取り組みの状況は。

**教育課長** 2023年度は馬耕体験などを行なっています。記録については2024年度に漫画の形で広報に掲載しているほか、動画も記録しています。動画は内部資料としてだけでなく、説明用に使うことも検討しています。



2024年には郷土資料館に看板が新設されました



苫小牧から馬がやってきた（馬耕体験）



13線9号にある「治水の碑」

**川原** 鷹栖町指定文化財第2号である「治水の碑」の草刈りが不十分という声があります。適切に行なわれていますか。

**教育課長** 草刈りを年2回、夏前と秋に行っており、適切に管理しています。

## 図書室の利用状況は

**片山** 図書室の蔵書は増えていますが年間貸出冊数は約2000冊減少しています。この要因は。登録者の町内・町外の内訳や人気の分野は。

**教育課長** 貸出冊数は減っていますが、図書室利用人数はおよそ1700人増えています。コロナ明けで図書室で本を読む人が増えている状況と考えられます。

登録者は町内1783人、町外622人で新刊本が人気です。



秋に開催する図書室まつりでは本のリサイクル市やおはなし会などでにぎわいました

## 上下水道

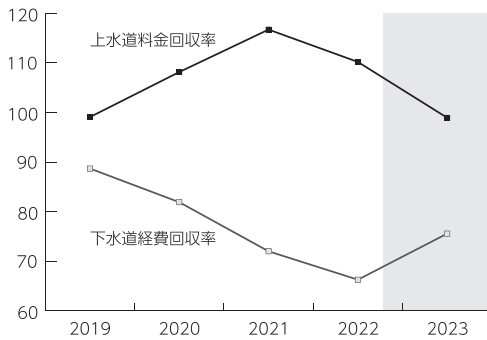
### 使用料改正は？ 管路の更新は？

**林川** 前回の使用料改定の際、5年経過しなくても、必要に応じ使用料を見直す説明してました。どちらも料金回収率が100%以下であり、使用料改正が必要では。

**建設水道課長** 水道は特殊要因があり100%を切りましたが、下水道の経費回収率は改善しています。

2025年度、全国的に公営企業会計への移行が完了します。他町との料金を比較し、道内での位置を分析します。更新費用を含めて試算し、水道料金も含め検討します。

回収率の推移



※ 2022年10月に料金改正をしています

本町水道管 約150kmの状態推移 単位：%

	2019	2020	2021	2022	2023
管路更新率	0.36	0.29	0.28	0.60	0.49
耐用年数経過管率	39.79	47.77	49.89	53.63	57.29

※ 水道管の更新率は平均0.4%で推移しています  
 ※ 耐用年数を過ぎた水道管の割合は、5年で約20%増えています



音聴棒による漏水調査の様子  
 水道管が老朽化すると漏水しやすくなります

**林川** 管路の更新率が0.5%を切っているということは200年以上かけて更新することです。

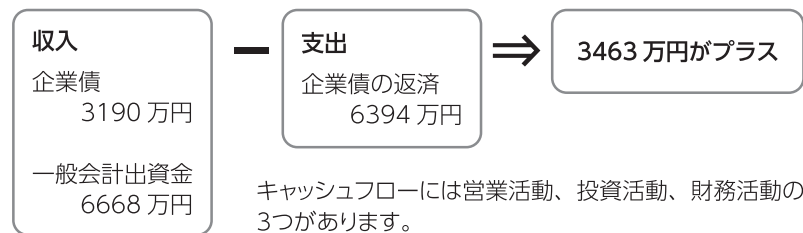
また、2013年以降は起債を借りずに工事を行っており、もっと更新ができるのではないかと考えます。この状態をどのように考えていますか。

**建設水道課長** 2019年に配水管更新計画を策定しています。内部留保資金は2026年度に不足する見込みのため、今後は起債が必要になることも考えられます。計画的に更新を進めていきたいと考えています。



次は第3回定例会 審議内容

### 下水道 財務キャッシュフローがプラスに



財務キャッシュフローの増減の考え方は経営者の方針によって変わります。一般的には、事業拡大のための借入が増えるとプラス、マイナスなら金融機関への返済が進んでいることが読み取れます。2022年度は企業債の借入がなかったため、マイナスとなっていました。

**林川** 下水道の財務キャッシュフローがプラスになりましたが、一般会計からの出資金が多い状況です。これが健全な経営とと考えていますか。

**建設水道課長** 使用料改定時に出資金を含めた計画で議会や住民に説明してきています。一般会計からの出資金もありますが、過度の借入れがないように、計画的に返済を行っていきたくと考えています。

# 2024年 第3回定例会 河川・道路の復旧に3410万円



短時間集中豪雨は、旭川鷹栖インター流通団地に大きな被害をもたらしました

## 定例会のあらまし

2024年 第3回定例会は9月18日(水)～19日(木)に開催しました。

1日目は2名の議員が一般質問を行ったのち、4件の報告、6件の条例等の改正、3件の補正予算、1件の契約について審議し可決。その後、決算認定の説明がありました。

2日目は7件の決算認定、1件の同意、1件の意見書、3件の議員発議を審査し、全会一致で可決しました。



議案一覧はこちら

## 条例 介護保険法規則改正に伴い条文改正

地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例

林川議員 政策として65

歳以上の人口を3000人以上にする考えはありますか。また、包括支援センターをもう一つ作る考えはありますか。

健康福祉課長 今のところの予定としてはあり得ない状況です。

## 討論

条例改正の必要性をめぐり討論がありました

反対

林川 伸二



賛成

桑原 芳文



提案されている条例は町民にまったく関わりがありません。そういうものを町民のために定める条例として審議するのは不適切だと考え、反対します。

国が2024年3月に打ち出したものであり、すでに検討が重ねられています。いずれ取り組まなければならぬ課題であり、今回、進めるべきと考えます。

## 補正 一般会計など3会計を補正

介護保険特別会計(第1号) 水道事業会計(第1号)

一般会計補正予算(第3号)は総額1億4859万円の増額です。

7月23日・24日の豪雨により破損した公共土木施設の復旧工事費3410万円が計上されました。

## 大雨で被災した事業者に支援金

豪雨により経営に大きな影響を受けた中小企業を支援します。

可決 反対1名

林川



印鑑カード



印鑑に関するお問い合わせは役場1階5番窓口まで

## 例 証明書のコンビニ交付に対応 条 印鑑の登録及び証明に関する条例

マイナンバーカードを活用したコンビニ交付サービスに関する事項を追加。分かりづらい表現や手続きなどを修正するために全文改正しました。

明書は交付できます。登録廃止の手続きまでさせる必要性がありますか。

**町民課長** 印鑑カードと実印は紐付けされているため、カードが破損した場合は再登録が必要です。

**林川議員** 今まで未成年者が、本人確認の保証をすることを認めていませんでした。今回改正するにあたり未成年者取消権など民法上問題はありますか。

**林川議員** 実印を失くしたのに印鑑カードを再交付できる規定になっていますが、意味がないのでは。

**町民課長** 他の自治体の例を参考にしており、問題ないと考えています。

**町民課長** 汚損の場合と同じ考えで、一貫性がなくなれば新たに登録しなおす必要があります。

**林川議員** 印鑑カードが汚損した場合でも、実印やマイナンバーカードでも証明

**林川議員** 関係人とは誰を指しますか。登録者本人の意向に係わらず、関係人

に実印を持ち出させるのは法的に問題があるのでは。

**町民課長** 事件発生時などに印鑑登録の有効性を確認するために質問できる人

物を指し、家族などが該当する可能性があります。

可決 反対1名

林川

## 討論

印鑑カード再発行、実印の扱いなど手続きの妥当性で討論

反対

林川 伸二



賛成

青野 敏



①民法との兼ね合いで、未成年者が本人確認の保証をすることに懸念があること

②印鑑カードを汚損しても、実印やマイナンバーカードがあれば交付されるのに、なぜ廃止までしなればならないか

③実印を失くしているのに、印鑑カードが再発行されること

④関係人が本人の同意なしに実印を持ち出すことを行政が認めること

①条例では15歳以上が登録資格であり、民法上の成人とは異なる基準を採用しています。

②印鑑カードが汚損した場合、再発行手続きが必要なのは一般的な手続きです。

③印鑑カードの再発行は、必要とする人が行う手続きであり、問題ありません。

④行政は印鑑登録を行う権利があるかどうかを慎重に確認する必要があります。

町民の不利益にならないよう、町民の権利を守るという立場を含め、条例に記載されていると理解し、賛成します。

## 議 発

議会・委員会  
オンライン化に対応



1年前から会議システムの調査研究を行ってきました

議会や委員会のオンライン開催ができるよう条例や会議規則を改正しました。手続きのデジタル化などにも対応します。

## 同 意

新たな教育委員に  
斉藤菜摘さん

新たな教育委員会委員の選任に同意しました。任期は2028年9月30日までです。



斉藤 菜摘さん

PTA活動や地域活動などにも積極的に参加



次は2名の議員が一般質問

2名の議員が町政を問う

# 一般質問 争点の提起

一般質問は、各議員が行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問を質すことで、現行の政策を見直し、新規政策につなげる重要な活動です。鷹栖町議会では一般質問を議員個人のものではなく、政策資源として活かすことを目指しています。

## 一般質問者数は減少傾向 10年ぶりに2名に

今回の定例会では一般質問が2名でした。一般質問者数が2名となるのは2014年以来10年ぶりでした。

2020年の「通信簿」導入後、一般質問者数は増加傾向にありましたが、改選後は減少傾向となつてい

ます。選後は減少傾向となつてい  
次回の12月定例会は休日  
議会では一般質問を行う予定  
です。質問者も比較的多く  
なる傾向があります。何名  
が登壇するか、ご注目くだ  
さい。

## 初傍聴の方もいましたが、傍聴者は少なめ・・・

質問議員	質問内容	総合振興計画での位置づけ	頁
青野 敏	防災対策の再整備が必要では	 「安全で安心なまちづくりの推進」 施策⑮	17
片山 兵衛	国語力向上のたゆまぬ努力を	 「地域ぐるみで魅力ある学校教育」 施策①	18

一般質問の内容と関連する第8次鷹栖町総合振興計画の施策を記載しています。総合振興計画は右のQRコードからも確認できます。



通信簿の回収が少ないためレーダーチャートは掲載していません



 こちらから質問内容を紹介します。動画をご覧ください。

### 定例会ごとの一般質問者数の推移

	3月	6月	9月	12月	合計
2002	6	1	2	5	14
2003	3	2	5	5	15
2004	4	4	2	9	19
2005	4	4	2	4	14
2006	4	3	3	4	14
2007	4	3	2	4	13
2008	4	4	3	4	15
2009	9	6	3	6	24
2010	3	3	4	6	16
2011	2	4	4	9	19
2012	3	4	2	10	19
2013	3	3	3	4	13
2014	3	4	2	6	15
2015	4	5	6	5	20
2016	7	6	4	8	25
2017	6	4	5	8	23
2018	5	4	4	8	21
2019	5	5	6	7	23
2020	6	5	7	8	26
2021	7	7	4	8	26
2022	4	6	5	8	23
2023	6	5	3	6	20
2024	6	5	2	?	?

網掛けは改選後初の定例会です



傍聴者の方が通信簿に書いたコメントの一部を、なるべく原文に近い形でページ下部に掲載しています。

# 防災対策の再整備が必要では

**町長** 関係機関と検証を行っています



2024年7月23日から24日にかけての大雨により、15事業所で浸水被害、住家7棟で床下浸水がありました。

**過** 去に発生した災害からの被害想定、過去の検証を行い、現状の施策や対応を分析・評価する脆弱性評価の取り組みが必要では。

**町長** 被害想定として、24時間に100ミリ超の降雨があると河川が増水し、農地や道路などが冠水すると考えています。

国土強靱化地域計画における脆弱性評価の取り組みも同様に重要と考えます。

**質問** 水害への対応にあたる職員はさまざまな負担を担っています。

課題を少しでも解消するため、災害想定や災害マップを作成し、事前の備えを強化することが必要では。

**町長** 過去の災害事例に基づき、2025年度の洪水ハザードマップ改訂に合わせて内水ハザードマップも作成する計画です。

**質問** 今回の内水による浸水被害の状況を見ると、国や道と連携し、以上の施設整備や設備の配置などを行う必要があるのでは。

**町長** 今回、被害のあった箇所については、治水対策や排水ポンプの設置、樋門の改修などを関係機関の協力をいただき検証を行っているところです。

2018年度策定の河川維持管理計画に基づき、現況を確認し、緊急度の高いところから計画的に事業を実施しています。

排水能力向上のため災害対策車を国に要望することにも必要と考えています。

**質問** 地域、住民、企業などによる十分な災害への備えと防災意識の推進が必要では。

自助・共助・公助の総合的な防災力の向上を図ることについての考えは。

**町長** 各地区の地域運営組織で防災研修を実施しています。2024年度も宿泊を伴う避難所の運営に関する研修などを計画しています。

地域での防災意識の向上を図るために、地域運営組織から推薦をいただき防災士の育成も行っています。

企業とは事業継続計画のことも話をして、一緒に行動できるようにしていきたいと考えています。

**質問** 今回の被害を教訓にハード対策とソフト対策を重層的に組み合わせる減災への推進、社会全体で大規模災害への防災力の向上を図ることが必要では。

**町長** 2015年から消防団や関係機関などと連携し、排水ポンプの設置や土の積みなどの水防訓練を実施しています。

大雨が予想される場合には、町の防災無線やLINEを活用して家庭や事業所で大雨に対する準備をしようということも、減災につながるかと考えられます。

旭川気象台からの情報もいただきながら進めているところです。



あおの さとし 議員  
**青野 敏**



# 国語力向上のためまめ努力を

**教育長** 学校と連携し、児童生徒の状況に応じ取り組む



チーム維持のため、女子バスケ部は2023年から、野球部と男子バスケ部は2024年秋から上川管内との合同チームで活動しています

2024年は鷹栖単独の野球部として中体連に参加しました

**国語** 語は文化の基盤であり、思考力や感情表現に深く関わっています。国語力向上のため、ためまめ努力が必要では。  
**教育長** 小中学校と連携し、児童生徒の状況に応じて、言語活動や他人に向けて表現する機会の充実、児童生徒の主体的な学習活動の充実を図り、国語力の向上に取り組めます。

**質問** 児童生徒の力はテストの点数だけで表すことはできません。学力テストの結果に一喜一憂せず、児童生徒の能力を見極め、それを向上させることが大切です。考えは。  
**教育長** 確かな学力、豊かな人間性、健康・体力のバランスのとれた、生きる力を育んでいくことが大切だと考えています。

## 丁寧な部活動の地域移行を

**質問** 部の改廃や近隣市町との連携など課題は山積んでいます。  
児童生徒や保護者の負担とならないよう、丁寧な時間をかけて十分な協議を行うべきでは。  
**教育長** 文化系を含めた部活の総合型地域スポーツクラブへの移行を順次進めていきます。町単独での移行が困難なものは、近隣市町との連携も視野に入れて検討していきます。

**質問** 部活動では移動手段に課題があると聞いています。総合型地域スポーツクラブで自前のバスを導入する考えは。  
**教育長** 部活動では移動手段に課題があると聞いています。総合型地域スポーツクラブで自前のバスを導入する考えは。

**教育長** 財源や建設水道課の車両との兼ね合いも含め町部局と検討します。

## 高騰する修学旅行費の支援を

**質問** 物価と共に修学旅行費も高騰しています。児童生徒にとつてできるだけ充実した体験となるよう、所得に関わらず修学旅行費の支援をする考えは。  
**教育長** 物価と共に修学旅行費も高騰しています。児童生徒にとつてできるだけ充実した体験となるよう、所得に関わらず修学旅行費の支援をする考えは。

修学旅行費	2023年→2024年
鷹栖小	21,180円 → 30,650円
北野小	18,339円 → 24,604円
鷹栖中	53,850円 → 69,648円

2023年の小学校の旅行費については国の旅行支援制度適用後の金額です

いずれの学校でも行先や行程に大きな変更はありませんが、費用が高くなっています。

**教育長** 今後も物価高騰により保護者の負担増が予想されます。町部局と打ち合わせを行い、前向きに検討します。

## 高校生の通学費助成を

**質問** 町外に通学する高校生の交通費の助成を検討できないでしょうか。  
路線の維持という観点から考えても意味のある施策と考えます。  
**町長** 子供たち自身の育ちに関わる時間や環境を大切にしたい事業を優先し、現時点では、検討しない考えです。



かたやま ひょうえ 片山 兵衛 議員



「若い世代らしく、物事に対してははっきりしていると感じます。あえて申すなら、子供達の”心理”を深く知ってもらいたい・・・？」

# どうなった？ あの質問

一般質問のその後を追跡！



今回、追跡するのは  
**2023年3月 青野議員** の質問



この質問は議会報  
194号の13ページ  
に掲載しています

**194号  
13頁**

## 隊員の起業を目指して

鷹栖町では主に会計年度任用職員として協力隊員を雇用してきましたが、さらなる定住のために起業できるような雇用形態の多様化を求めた質問です。  
隊員の雇用・勤務の形態については片山議員も質問しています。(議会報183号の12ページに掲載。)

## 地域おこし協力隊の雇用形態は

**町長** 募集の機会に総合的に判断している

**質問** 地域の課題に対して、住民と協力隊が一緒に取り組む体制が重要です。

本町の協力隊員の雇用形態とサポート体制は。

町長 募集の機会に、隊員が取り組む業務内容や特性、隊員個人のニーズも勘案し、任用形態について総合的に判断しています。

## いき業務内容により委託型の協力隊員も採用

**POINT 1** いままで同様、会計年度任用職員として雇用する協力隊員のほか、業務内容により委託型の協力隊員も採用しています。

**POINT 3** 現在、町内では新規就農を目指してあったかファームで研修中の5名、民間事業者での事業継承を目指している1名が委託型の地域おこし協力隊として活動しています。

**POINT 2** 雇用型では勤務時間が固定されていますが、委託型はあらかじめ決められた内容を達成するための活動時間には柔軟性があります。

こちらから協力隊員の紹介をご覧ください



## 「委託型の協力隊員として事業継承に向けて研修中」

Interview Takasu

8年前、もともと知人だった平林さんに会いに初めて鷹栖町を訪れました。以来、毎年家族で来るくらい、この町が大好きになりました。

鷹栖町への移住を考えていたところ、ご縁をつないでいただき、委託型の協力隊員として事業継承に向けて研修しています。未知の分野を学ぶことは楽しいです。

この雇用形態には、町の発展につながるさまざまな可能性があると感じています。

西村 勉さん (鷹栖地区)



2024年3月地域おこし協力隊活動報告の様子



鷹栖町  
地域おこし協力隊のX

あったかファーム研修生も「委託型」  
春から秋の繁忙期は休みが少なく、長時間の従事になるため、あったかファームの研修生も委託型の地域おこし協力隊として活動しています。

# ごみの資源化 学校教育

総務文教常任委員会所管事務調査

## 先進地を調査

総務文教常任委員会では2024年度の調査研究テーマに「学校」を設定しています。

また、2023年度から引き続き「ごみ問題」もテーマの一つとしていることから、それぞれの先進地を現地調査しました。

事前の勉強会を行なったほか、調査後は担当課との意見交換も行いました。

7/25 7/26



作業の様子をモニターで確認できます



町単独では難しいものの、広域で取り組むことができないか可能性を探ること、今後の普及状況を注視することが必要と考えます。



本町で取り組む場合、公設公営、公設民営、民設民営のどれがよいか検討も必要です。



導入には既存の処分経費・製造「ラスト」の比較やRDFの販売先など研究が必要。



完成したRDFは発火防止のため、屋外に保管していました

廃棄物の処分と再資源化について運搬から最終処分まで一貫したサービスを提供しています。

俱知安町「ニセコ環境(株)琴平リサイクルセンター」  
ごみを「燃やささない」「埋めない」を実現

## 喜茂別町生ごみ堆肥化施設 切り返し不要の装置を採用し効率化

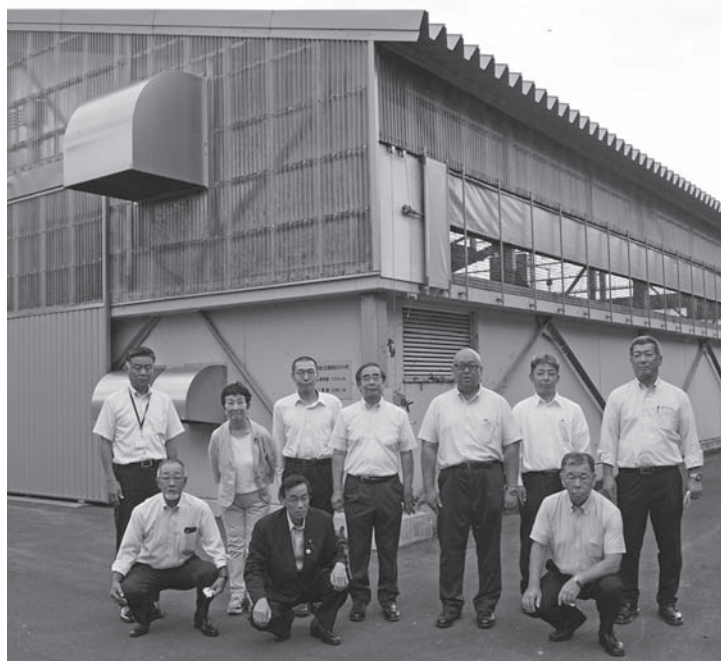


高圧通気型発酵装置の採用により、発酵が促進されるため約6週間で堆肥化しています

2015年に生ごみ堆肥化施設を建設し、喜茂別町と隣接する留寿都村の生ごみを処理しています。生ごみ以外は業者に委託しリサイクルしています。



可燃ごみへの生ごみ混入率が1・26%と非常に低く、分別意識の高さに驚きました。



鷹栖町の生ごみ堆肥化施設が老朽化しており、今後の大規模改修に向け方式の異なる施設の調査を行いました。また、生ごみの回収方法も調査しました。生分解性の生ごみ回収袋は、回収前に分解がはじまるなどの課題があるそうです。回収方法も手間をかけており、生ごみバケツの効率性を再認識しました。



④堆肥化施設  
切り返しが必要のため人件費が削減できているとのこと  
⑤この装置により高圧空気を発生させています

## 安平町早来学園 日本一の公教育を目指す新しいタイプの学校



音楽室は仕切りを外すとホールステージになるなど複数の機能をもたせるよう至るところで工夫していました



空間を広く使っているからやましくらい。英語室も素晴らしいです。



ゼロベースで学校づくりをしたとのこと。従来の形のPTAもなくなっているとのこと。



④既存の概念にとらわれずにつくられた校舎は空間の使い方も大胆  
⑤斉藤議員お気に入りの英語室は防音もばっちり



空スペースを町民が使用する取り組みや図書館の併設などにより、地域のコミュニティとして学校施設全体の新たな役割を感じました。セキュリティ面の課題は顔認証システムで解決していました。ひとつのものに複数の機能を持たせることも、今後の公共施設を考える上で必要な視点だと感じました。

2023年4月に開校した小中一貫の義務教育学校で、子供たちが主体的に学び、成長できる環境を提供しています。



# 視察の夏

## 情報収集

気になるところ見てきました

### 町内所管事務調査

担当職員の説明を受けながら現地を視察しました

#### 四季の里

#### 高島団地

#### 熊の檻

#### 梓山団地

#### パレットヒルズ

#### あったかファーム

#### 三角台配水池

### 町有林

高島団地・梓山団地



人手不足解消のため、スマート林業の導入が検討されています

高島団地は良く管理されており、今後は木材の市場価格と伐期を見据えた作業に期待します。

梓山団地(旧官行造林地)は、高島団地に比べ10年以上も早く植林されていますが成育が悪く、補助額の多い民間への売却を視野に入れた育林も検討すべきと考えます。



鹿対策モンスターウルフも視察

### パレットヒルズ



さくらフェスタの来場者数は2日間で6400名。駐車場の確保が課題です。

さくらフェスタでは、混雑緩和のため鷹栖市街地よりデマンドバスを運行しています。

キャンプ利用者増加もあり、持続可能な運営を考慮し、利用料の見直しを検討すべきと感じました。

### 農産加工センター 四季の里

老朽化が進み、更新しなければならぬ機器が次々に出てきています。今後、瓶の洗浄機やオーブンの更新を計画しています。

利用者拡大のため、加工体験を実施し、多世代の利用を促進しています。

### 新規就農者の研修施設

### あったかファーム

栽培データを蓄積し、体系的なマニュアルをつくるため環境モニタリング装置を設置し、データ駆動型農業の本格始動を予定しています。

高齢化にともなう担い手不足の解決のため、後継者などが指標になるデータとすることが期待されます。



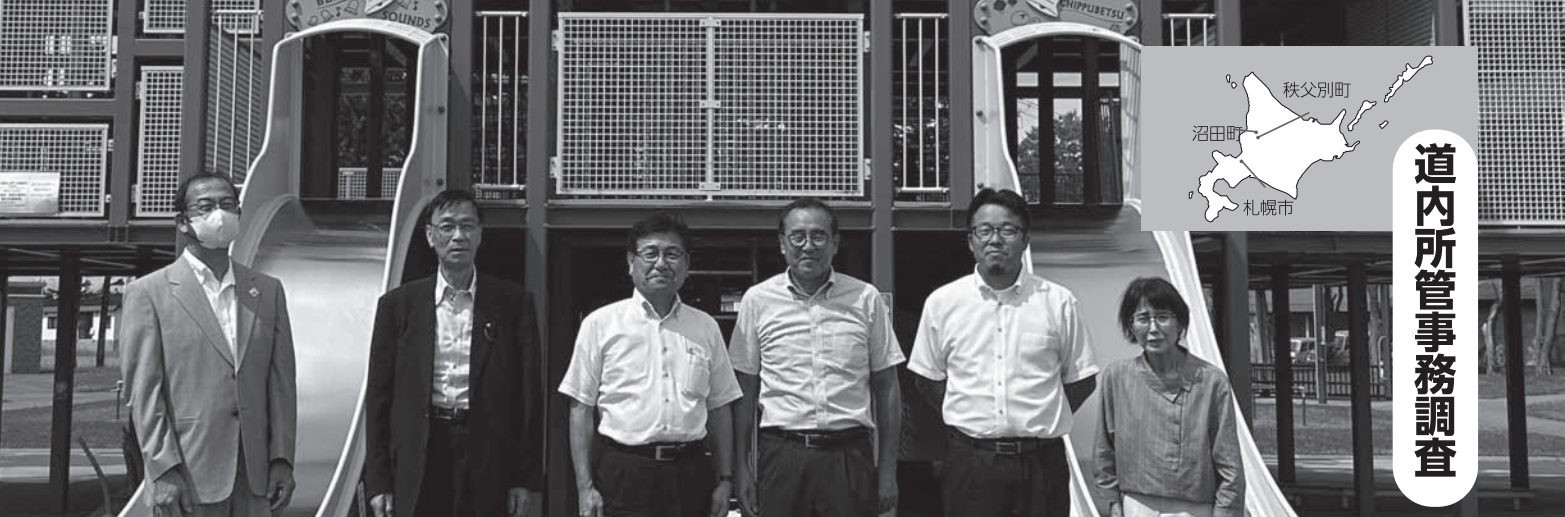
あったかファームにて、トマトときゅうりの栽培状況を視察



高温となるトマトジュースの加工室は昨年、エアコンが設置されました

経済福祉常任委員会は7月22日に町内所管事務調査。8月27日・28日にコロナ禍を経て8年ぶりとなる道内所管事務調査を実施しました。視察内容・視察で得た知見を課題解決に向け、どのように活かしていくのか所感をまとめました。

# 道内所管事務調査



## 札幌

株式会社アド・ワンファーム

最先端の植物工場 太陽光利用でレタスなど栽培



労働力を抑える視点から最先端のシステムは参考となりました。  
施設整備には相当の事業費が発生するため、官民一体で進めることも視野に入れた体制作りが必要と考えます。

## 沼田

「NUMATA TOMATO TOWN構想」

無支柱栽培で加工用トマト生産 日本一を目指す



沼田町では作業の省力化を図るため無支柱栽培に取り組んでいます。苗の無償提供や家庭菜園栽培事業による町民参加、道内34団体が加盟する加工用トマト拡大協議会での販路拡大にも特色がありました。トマト祭、トマトレストラン、トマト村による就労創出などトマトを中心とした構想が進んでいます。

## 秩父別

子ども室内遊戯場  
「キッズスクエア ちっくる」

季節や天候に左右されない室内遊戯場  
「遊び」を通して生きる力を育む



年間30万人が訪れる室内遊戯場を視察。  
維持費はふるさと納税を財源としており、その返礼品は米が中心で寄付額も10億円に及んでいます。財源についても見習うところが多くありました。

## ムービングハウスを視察

被災地に迅速に設置できる「移動型」の応急仮設住宅を視察。  
移動は考えていないとのことでしたが、施設内は全面木造で、台所、トイレ、洗面台、風呂付、最大5名が宿泊できる十分な機能を備えていました。



被災地に迅速に設置できる「移動型」の応急仮設住宅を視察。  
移動は考えていないとのことでしたが、施設内は全面木造で、台所、トイレ、洗面台、風呂付、最大5名が宿泊できる十分な機能を備えていました。



レタス栽培は播種後から約2ヶ月、栽培中は人の手が一切かからず収穫されており、550万株を栽培。



人口規模など本町と類似点も多く、加工用トマト生産量拡大の方法もとても勉強になりました。



近隣の図書館では、中学校3年生までを対象に公設学習塾を開設。学習面のサポートも行っていました。



あったかファームの視察や体験者の受入施設に有効です。似たようなトレーラーハウスとの比較もしてみたい。



調査終了後、情報に基づき本町の課題解決に向け、委員会所感を作成。  
大変有意義な事務調査となりました。

8/9

# 語ろう会 参加者4名

## 参加者減少に危機感

参加者の皆さんからは多くの提言をいただきました。しかし、参加者が4名という状況に危機感を抱いています。

議会の役割は地域課題の

解決です。語ろう会は皆さんと信頼・協力関係をつくる手段の一つです。沢山の方に来ていただき、まちづくりを自分ごとにしていくことを目指してまいります。

高齢化が進む中、交通や買い物課題です。旧鷹栖農協跡地の活用はどうなったのか。

※商業の拠点としてツルハを核とした公設民営の複合施設を2025年度中に整備予定です。

除雪は働き方改革で長時間労働が是正された面もありますが、人材の確保がさらに必要です。昨年は大雪の際、外に出られないことが数回ありました。

### VOICE

参加者の声をご紹介します。

国民健康保険料が高く感じませんか。物価高が続いています。子育て世帯の均等割の軽減措置が必要では。

議員とは気軽に話すことはできますが、どんな時に頼って良いかわかりません。



「議会にどんな時に頼って良いかわからない」という方は、まだまだ多いと思います。皆さんの声をもとに議会がどのような活動を行っているのか。まちづくりにどう反映されていくのか。これからも丁寧にお伝えしていきます。



語ろう会のテーマ

- ① 議会報を読みながら、まちづくりへの疑問やご意見をいただきました。
- ② 2023年度決算へのご意見をいただきました。9月19日の決算質疑ではご意見を参考に議員が質疑を行いました。

## 語ろう会を四季の里で初開催

### 前日には議員もアイス作りを体験



四季の里で加工体験募集中  
TEL:0166-87-3838



今回は農村部での語ろう会を四季の里で実施しました。議員自ら加工体験も行った。語ろう会で提供するアイスクリームを職員指導のもと作りました。

四季の里では、夏場の利用者が多い、トマトジュースだけではなく、パンやアイスを気軽に作るができます。子育て世帯を中心に多世代への利用を促進しています。



バニラ味とチョコ味のアイスを楽しく、簡単に作ることができました

利用時間 9時～16時半  
休館日 月曜・火曜  
祝日の翌日・年末年始



鷹高生と協働でチラシづくり



議会のうごき

2024年 2024年  
7月16日 ▶ 10月11日

会議の開催状況

臨時会	0回
議員協議会	2回
議会運営委員会	2回
各常任委員会	12回

【欠席状況】

舟根	7/22 広報広聴 8/9 経済福祉 9/24 広報広聴 10/4 広報広聴 10/11 広報広聴
川原	8/27-8/28 経済福祉所管事務調査
佐竹	9/24 広報広聴 10/11 広報広聴

総務文教常任委員会→総務文教のように略しています

8/27

9月定例会に向けて鷹栖高校生徒会の皆さんと協働して、案内チラシを作成しました。事前にアイデアをもらい、ある程度完成したチラシをもとにキャッチフレーズを考えたり、新たなアイデアを加えたりしました。

9月18日の北海道新聞、メディアあさひかわ10月で取り組みを紹介していただきました



鷹栖町議会では、若い世代に政治に興味を持ってもらうため、そして若い世代のことを知るために鷹栖高校生との取り組みを進めています。



次はわたしの一言 / 第4回定例会ご案内

くしゃくそう  
クイズ

商品券1000円分が  
3名に当たる！  
次の問題に答えよう

○に当てはまる言葉を入れてください。  
答えはこの議会報「孔雀草」の中にあります！

問1

7月9日、北野小学校6年生がグループごとに考えた「○○○○」を行政に発表しました。9月17日には議場で担当職員がフィードバックを行いました。

問2

2023年度の決算審査では、一般会計、4特別会計、2公営企業会計を合わせた7会計○○億円の支出を認定しました。

問3

第3回定例会では一般会計補正予算を可決。7月23日・24日の豪雨により破損した公共土木施設の復旧工事費○○○○万円が計上されました。

《クイズ応募方法》

クイズの答え・住所・氏名・年齢を記載し、郵送、FAX、Eメール、または回答フォームからご応募ください。

①よかった記事

②こうしたらもっとよくなる

というアドバイスもいただければ幸いです。

《あて先》

議会事務局 宛

〒071-1292 鷹栖町南1条3丁目5番1号

《しめきり》

2024年11月30日(土) 消印有効

ご記入いただきました個人情報、賞品発送とそれにかかる業務のみに利用します。



ウェブでも  
回答できます

《前回のクイズの答え》

問1 定額 問2 広報 問3 バドミントン



鷹栖町に縁のある方に日頃の思いなどを自由に書いてもらうコーナーです。

農家と二足のわらじ



門木 俊郎さん(中央地区)



仲間と協力して、経営を頑張っています

## 合同会社 eMIPLUS

コロナの影響で一大ブームを巻き起こしたキッチンカー産業。当時なかなか手に入らなかったキッチンカーが旭川に1台あるという奇跡が起こり、元々興味のあったキッチンカー事業を農家7名で始めました。

いろいろな行事に参加させていただくなかで、少しずつ鷹栖町の皆様に知っていただけるようになりました。またこれからいろいろな事業をやりたいと思い、合同会社 eMIPLUS を立ち上げ、今年の7月にTAKAフェス 2024 と題しましてお祭りの企画・運営を行い、さまざまな方や企業様に協力していただき無事開催できました。この事業は毎年続けていけたらと思います。

また8月には鷹栖町内にカフェもオープンすることができました。

本業の農家との兼ね合いで大変なことも多いですが、これからも鷹栖町の発展に少しでも貢献できるように頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



TAKA フェス2024では、鷹栖産米おにぎり無料食べ放題をはじめとする屋台、「音と笑」を楽しめるステージなどで盛り上がりました

次回の定例会は **〈土曜議会〉** ※15日(日)は休会

**12月14日(土) ▶ 16日(月)**



「一般質問の通信簿」も実施します。議場で配布する「議会傍聴ガイドブック」には一般質問の見どころも掲載していますので、参考にしてください。

- 日程は変更になる場合があります。
- 役場ロビーとはびねすで中継を予定しています。

